

教育総務課

○ 明覚小学校南校舎解体が遅れた理由は、学校の倉庫や埋蔵文化財の保管場所等として使用してきたためである。

○ 小学校屋内運動場照明LED化に対する補助金の補助率及び、令和6年度に施工する町全体の照明LED化に係る工事費が大きいのではないかと。施工に際し、平準化することは考えなかったのか。

○ 補助率は、施工費の1/3で国庫補助となる。小学校屋内運動場照明LED化工事は、令和5年度設計、令和6年度施工のスケジュールで進められてきた。なお、学校施設環境改善交付金を受けるためには、前年度設計、次年度工事として連続して実施しなければならない。

○ 学校給食費の賄材料費に、学校給食充実事業130万円が含まれているが、その内容は、毎日のおかずを3品と

し、1汁3菜としているほか、毎月1回、各都道府県の郷土料理等を紹介しながら提供する「日本全国めぐり」を行っており、42道府県の郷土料理を提供することができた。

生涯学習課

○ せせらぎ広場設計業務委託の積算内容は、測量業務、設計業務、数量計算及び概算工事費の積算を行う。

○ 令和2年度、3年度は物価高騰を受け税率、税額を下げた。特例を継続せず、なぜ税を上げることになったのか。



せせらぎ広場

特別会計の主な質疑

○ 国民健康保険特別会計予算 療養給付費が昨年度に

比べ予算減となっているが、コロナの影響を考えて予算編成したのか。

○ 過去3年間は、コロナの影響で受診控え等があった。令和4年度は、療養給付費が増加、令和5年度は通常どおりに戻りつつある。今回の予算は令和4年度の決算額を基に算出し一人当たりの額に伸び率等を見込んで計上した。

○ 令和2年度、3年度は物価高騰を受け税率、税額を下げた。特例を継続せず、なぜ税を上げることになったのか。

○ 令和6年度は基金から6千万円繰入ないと予算編成できない状況だった。今後も続いていくと思われるため、税率、税額等については、引き続き国保運営協議会の中で検討をお願いしていく。

後期高齢者医療特別会計予算

○ 広域連合の基金を取り崩し保険料を上げないよう、町として声をあげてほしい。

○ 基金総額198億円の

うち、すでに175億円を取り崩したうえで保険料を決定している。

介護保険特別会計予算

○ 介護保険料の第1、3段階軽減分は公費を充てるのか。また、利用者負担を軽減する条例を制定し援助をする考えは。

○ 介護保険料の軽減分は9段階から13段階に改めたことで増となる収入を充当する。町独自の利用者負担軽減の助成はない。今後、近隣市町村の状況を注視していく。

関口茂八翁奨学事業特別会計予算

○ 返還をより確実なものとするため、連帯保証人等第三者を含めた協定のようなものの整備が必要ではないか。

○ 奨学資金貸与申請書に返還義務を負うこと等が明記されている。連帯保証人も含めこれに署名、押印しており、この申請書に協定と同様の意義があると認識している。

事業会計の主な質疑

水道事業会計予算

○ 逆ザヤ解消の用途は。※逆ザヤ：給水原価（販売原価）が供給単価（製造単価）を上まわる状況。

○ 令和4年度決算では、1㎡当たり給水原価が228.5円、供給単価が187.8円であった。平成22年度に高料金対策補助金が7,000万円に増額された頃から逆ザヤの状況が顕著となった。対策としては、経費削減のほか高料金対策補助金を減額し、料金収入で賄うことであるが、補助金を算入することにより、これ以上の料金値上げを抑える効果もあることから、現状では解消は難しい。中長期的に進めていく。

浄化槽事業会計予算

○ 当年度の浄化槽設置基数については、70基の設置は難しいと考えるが、その予定で組んだのか。

○ 令和6年度は70基の目標型予算とし、令和7年度からは実績に基づいた予算計上をする。

令和5年度 一般会計補正予算

議案第21号 一般会計補正予算(第7号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,398万円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ64億1,915万円とする。

○ 主な補正

物価高騰対応重点支援事業

① 令和5年度住民税均等割のみ課税世帯(1世帯10万円) 4,609万円  
② 令和5年度住民税非課税・均等割のみ課税世帯の18歳以下の子とも1人当たり5万円 1,341万円  
③ 令和5年度課税で令和6年度は非課税世帯(1世帯10万円) 2,112万円  
④ 定額減税4万円に達していない課税世帯への給付 310万円  
⑤ 子育て世帯の負担軽減、給食費等相当額の支援金 小学生1人当たり6万円、中学生1人当たり6万円



5千万円 3,586万円  
ふるさと応援基金積立金 396万円  
町社会福祉協議会補助金 1,370万円  
親水公園維持管理事業 1,142万円  
過疎対策事業債 △3,620万円

○ 物価高騰対応重点支援事業の実施される時期と、申請方式は。

○ 基本的には4月から始め5月に給付。令和6年度の税情報確定次第、6月以降で対応とする。確認書を送付し、提出。

○ 過疎対策事業債の減額理由は、令和5年度実施した19事業の執行残。

令和5年度 特別会計等補正予算

議案第22号 国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ3,094万円を減額し、予算の総額を歳入歳出それぞれ8,650万円とする。

○ 主な歳入

国民健康保険税 716万円  
保険給付費等交付金 1,408万円  
財政調整基金繰入金 △6,122万円

○ 主な歳出

特定健診等事業費 △206万円  
財政調整基金積立金 △3,685万円

○ 現在の基金はいくらあるのか。  
2億5,000万円

議案第23号 後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1,028万円を減額し、予算の総額を歳入歳出それぞれ1億

7,375万円とする。

○ 主な歳入

後期高齢者医療保険料 △1,029万円  
後期高齢者医療広域連合納付金 △992万円

○ 主な歳出

後期高齢者医療保険料 1,296万円  
介護予防サービス給付費 2,067万円  
介護予防サービス給付費 251万円

議案第24号 介護保険特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ3,547万円を減額し、予算の総額を歳入歳出それぞれ12億3,339万円とする。

○ 主な歳入

介護給付費準備基金繰入金 1,296万円

○ 主な歳出

施設介護サービス給付費 2,067万円  
介護予防サービス給付費 251万円

議案第25号 浄化槽設置管理事業特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ4,553万円を減額し、予算

議案第26号 水道事業会計補正予算(第3号)

収入の予定額から254万円を減額し、3億9,602万円、支出の予定額から494万円を減額し、3億3,891万円とする。(資本的)

収入の予定額から23万円を増額し、3,599万円、支出の予定額から1,200万円を減額し、2億502万円とする。

収益的収入・支出

支出：…サービスの対価としての水道料金収入とサービスの提供に要する支出

資本的収入・支出：…企業の将来の経営活動に備えて行なう建設改良等に関する支出とその財源となる収入

